



「朝鮮戦争70周年、認識の相違と未来」

オンライン Zoom フォーラム

講演者



川崎栄子 (かわさき えいこ) AKU ジャパン代表理事。モドゥモイジャ代表。1942年、京都府で在日2世として生まれる。1960年、高校3年生の時に、在日コリアンの北朝鮮への帰還事業によって北朝鮮へ渡り、43年間を過ごした後、脱北。現在は著作活動や講演を行い、北朝鮮の実情を国際社会に伝える活動を各地で行っている。北朝鮮帰還事業60周年の行事を新潟と米国で開催。著書：『日本から「北」に帰った人の物語』など。

討論者



姜英之 (かん よんじ) AKU ジャパン副代表理事。東アジア総合研究所理事長。大阪生まれの在日韓国人。2000年より神奈川大学経済学部、東京経済大学経済学部、早稲田大学政治経済学部非常勤講師、2004年 北陸大学未来創造学部教授、2007年より拓殖大学客員教授。専門分野は韓国経済論、現代朝鮮論、東アジア国際関係論。主要著書として、「東アジアの再編と韓国経済」「韓国経済挫折と再挑戦」「東アジア共同体を設計する」

討論者



小川 晴久 (おがわ はるひさ) 東京大学名誉教授、前二松學舎大学教授。NPO「北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会」名誉代表。東洋思想学者。愛知県生まれ。1963年東京大学文学部東洋史学科卒、1969年同大学院中国哲学博士課程中退。東京女子大学助教授を経て、1978年韓国延世大学国学研究所客員研究員、1980年東京大学教養学部助教授、1988年同大学教授、2001年同大学定年退官、同大学名誉教授、二松學舎大学、同大学院文学研究科教授。

朝鮮戦争が1950年6月25日に勃発し70年、朝鮮半島は分断されたまま離散家族、核兵器、人権問題など様々な危機的な問題と共に解決をされずに残され、日本の在日コリアン内にも多くの理念的対立をもたらしました。北朝鮮脱北者で在日コリアン2世として分断を見てた川崎栄子 AKU ジャパン代表理事が基調講演を行い、長年北朝鮮の研究をされ民団の支団長である姜英之副代表理事と北朝鮮強制収容所撤廃の活動をされている小川晴久東京大学名誉教授が討論者として違う立場からの議論を行い、事実の認識と未来の朝鮮半島の人々と在日コリアンの合意を目指します。

日時：6月28日(日) 午後1時～2時30分

参加方法：参加希望の方は下記リンクより申請するか、または、下記連絡先まで指定の形式に従いメールをお送りください。後日、参加に関するお知らせを追ってお送りします。

参加申請：リンクより参加申請→ <https://ws.formzu.net/fgen/S56783459> QRコード：



メールでの参加申請→ info@koreaunited.jp まで「6月28日フォーラム参加」と件名にご記入の上、

氏名、連絡先、所属をご記入し、メールをお送りください。